

広報

おき 隠岐の島

2010

10



特集

牛突き その伝統を継ぐ

光ファイバーQ & A
平成22年度成人式

隠岐の島町消防操法大会

8月29日

隠岐の島町発足以来初開催の消防操法大会。およそ320名の団員が参加して開催されました。写真は出場10チームから見事第1位となった都万西部分団（浜那久班）の競技の様子。

牛突き

その伝統を継ぐ

平安時代末期の文献に「角合せ」の記述が見え、
 国宝『鳥獣人物戯画』にもその様子が描かれている牛突き。
 その後広まりを見せた牛突き文化は、現在隠岐の島町を含む
 全国6つの県で傳承されています。
 この特集では隠岐の島町を代表する文化の一つ「牛突き」と
 その魅力を紹介します。



今年の八朔大会横綱戦の様子

牛突きの歴史と伝統

承久の乱(1221年)で、隠岐へ流された後鳥羽上皇を慰めるために島民が始めたという傳承が残る「隠岐の牛突き」。
 江戸時代までは島前・島後で盛んに行われましたが、島前では廃れ、隠岐の島町のみに残ります。現在町内では年間を通して8つの大会が行われますが、本場所と呼ばれるのは夏場所・八朔大会・一夜嶽大会の3大会。なかでも壇境神社八朔祭の余興として行われる八朔大会は、隠岐の町で最も古い歴史を持ち、稲の収穫や畑作物の収穫を前もって祝い、地域の発展を目的として行われてい

ます。
 その文化の貴重さが認められ、昭和53年には「隠岐の牛突き習俗」が文化庁「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、平成16年には「八朔大会(文化財名称：壇境神社八朔祭の牛突き習俗)」が県の無形民俗文化財に指定されています。

また、町では文化財・観光資源としての重要性から、牛突きへの支援として、突き牛数の増を目的とした牛の購入費補助などを行っています。

●隠岐の牛突き大会一覧

大会名	場 所	開催日時
初場所大会	隠岐モーモードーム	1月第2日曜日14:00~
島開き牛突き	隠岐モーモードーム	5月初旬14:00~
春場所大会	隠岐モーモードーム	5月4日16:30~
しゃくなげまつり牛突き大会	姿沢牛突き場	5月5日14:00~
夏場所大会	隠岐モーモードーム	8月15日14:00~
八朔大会	佐山牛突き場	9月1日13:00~
一夜嶽牛突き大会	一夜嶽牛突き場	10月13日13:00~
秋場所大会	上西神社	11月第2日曜日12:00~

●町の牛突きへの支援

- 突き牛導入費補助(継続事業。年間246万円※平成20年度実績)
 隠岐の島町在住者で、もっぱら闘牛を目的に肥育を行うものを対象に1頭当たり購入価格の40%以内の助成(16万円上限)
- 肉用牛輸送費補助(継続事業。年間63万円※平成21年度実績、闘牛のみ)
 「島後と畜場」廃止に伴い肉処理する牛に対して1頭当たり一律7万円を補助
- 佐山牛突き公園整備事業(単年事業。2,500万円※平成21年度)
 林道付け替えや牛突き場周辺の公園整備を実施
- 都万地区共同牛舎建設(単年事業。2,780万円※平成22年度予定)
 突き牛飼育用の牛舎を都万地区に整備。飼育可能頭数10頭

追跡レポート

突き牛が大会に出場するまで

年3回行われる牛突きの本場所大会。突き牛と牛飼いは、さまざまな行事を経て出場しています。
 ここでは、都万地区の若手牛飼い「継承会」の突き牛「若昇力」が本場所(八朔大会)に出るまでの行程をご紹介します。

突き牛を飼う

都万地区に若手牛飼いグループ「継承会」が結成されたのは6年前。「昨年の八朔大会で横綱牛を出し優勝するという快挙を成し遂げ、現在は2歳になる突き牛を飼育しています。

突き牛を飼うことになったのは、おじいさんが突き牛を飼っていたという佐竹さんが、同じく小さい頃おじいさんが牛を飼うのを見ていたという春木さんを誘ったのがきっかけでした。その後、2人の同級生で牛飼い未経験の野津さんも加わり、現在まで6年、突き牛を飼育し続けています。

牛の世話は、毎朝5時半から散歩に始まり、牛舎の掃除、餌の草切りなど3人で連携してこなします。「牛は生き物なので、毎日の世話がかかせません。3人で協力しているからこそ続いていると

思います。」と春木さんは話します。

牛の餌はワラを主としてカヤ・ヨモギ・クズハなどを季節ごとに栄養が異なるものを選び与えます。さらに20アルルの畑を借りて、牧草も栽培しています。また、牛の体をきれいにするため毛並みを整えたり、伸びすぎた爪を揃える削蹄(さくてい)も必要となります。

自分で突き牛を飼うのは3人とも初めて。地域の牛飼いの先輩からのアドバイスを受けながら突き牛を飼う日々は続いています。

大会に備える

取材にお邪魔したのは八朔大会の1週間前。普段から週1回の牛同士を突き合わせる練習と週2・3回の2km余りの散歩はかかしますが、1週間ともなると、練習量を落とします。散歩を1kmと軽めにし、決戦に備えて牛の体調を整

えます。

今年の八朔大会は全国闘牛サミット開催記念ということで近年では珍しい10番の取り組みを揃えた上、うち勝負が7番という異例の番付となりました。
 本場所は、座元(ざもと)と寄方(よしかた)に分かれて番付は大相撲と同じく前頭・小結・関脇・大関・横綱と続きますが、牛突きには前頭の前に「芝切(しばきり)」と呼ばれる大会の幕開けの番付が存在します。継承会の若昇力はこの芝切戦で勝負することになりました。芝切で勝負ということも珍しいことだそうです。

前日

勝負の前日。「隠岐の牛突き」が神事としての色彩を帯びてきます。午後4時に地区から出場する突き牛が必勝祈願のため、二斉に地域の氏神にお参りをし



都万地区の若手牛飼い「継承会」のメンバー
 写真左から春木貴伸さん、佐竹良二さん、野津賢三郎さん



朝5時半。散歩から牛飼いの一日が始まります。
 (都万砂子谷地区)



餌の用意。草刈り後、細かく刻んで牛に与えます。



納屋の掃除は牛の散歩中に行います。



牛の身の回りの手入れも欠かせません。

※座元と寄方…座元は主催者側(八朔大会の場合都万地区)。寄方は招待者側(その他の地区)。

●前日(8月31日)

15:00 氏神参り
都万地区(座元)から出場する
突き牛が神社に集まる

18:30 前夜祭

24:00 壇境神社にお参り
綱取り等役持ちが滝で身を清める

●当日(9月1日)

6:00 出祝い(出陣式)

9:30 納屋に牛出し
牛の角を削り、飾りをつける

10:00 牛突き場へ出発
地区の神社にもお参り

10:15 牛突き場近くの幣池神社
にお参り

10:30 会場到着

12:00 座元・寄方土俵入り

12:30 芝切戦開始

17:00 大会終了

18:00 直会

ます。集まった人々に酒・肴がふるまわれ、近くの牛突き場では、出場する牛が披露されます。いよいよ決戦という、ほどよい緊張感につつまれた後、前夜祭となります。

前夜祭は、牛飼いの自宅で行われ、ひいき衆と呼ばれる支援者が集まり、夜遅くまで続きます。料理は親せきや近所の住民などの協力で翌日の食事まで賄われ、会場の鴨居には必勝を祈願するお祝いの「のし」がずらりと貼られるなど、地域をあげての勝負であることを伺わせます。

さらに深夜12時。必勝を祈願するため、那久地区壇境神社にお参りをします。「綱取り」など重要な役の人は神社横の壇境の滝に打たれて身を清めます。また、神社の水を汲んで持ち帰り、大会の日を使う風習も残っています。

いざ当日

翌早朝。再び牛飼いの自宅にひいき衆が集まり、「出祝い」が行われます。前夜祭と同じく、料理と酒・肴がふるま

れ身を清めた後、牛納屋で牛の角を研ぎ、五色の飾りを付けるなど出陣の準備を整え、会場に向かいます。

出場する牛が続々と集まり、勝負を控えた緊張感が会場を包みます。そして正午、土俵に先に座元牛、次に寄方牛が入場し、観客に披露された後、取り組みが始まります。今年は午後1時から4時間にわたり最大1トンを超える突き牛による熱戦が繰り広げられました。

闘いの後

今回芝切戦に出場した若昇力ですが、結果は惜しくも敗れてしまいました。「この牛がまた突いてくれるかにもよるのですが、もう一度勝負を挑んで勝つつもりで育てていきたいと思えます。そしてこの牛突きという行事が盛り上がるように尽力していきたいと思えます。」大会後、継承会のメンバーは、ゆるぎない牛突きへの思いを語ってくれました。

勝つても負けても、志の伝承が続く限り、「隠岐の牛突き」文化は続いていきます。

伝統と観光の融合で牛突きを伝承

長い歴史を誇りながら、後継者不足の問題を抱える牛突き。その魅力と保存のための取り組みを全隠岐牛突き連合会会長の齋藤茂(都万森里地区在住)さんに伺いました。

牛突きの魅力

牛突きは隠岐の伝統ある文化であると同時に、突き牛を育てることによってできる仲間とのつながりや勝負の結果から学ぶ経験など奥深い魅力があります。

牛飼いは年間を通じて、牛の健康や体力チェックをしながら本場所へ備えることとなります。本場所は自らの日々の努力の成果を試せる場所ですが、そこは勝負の世界です。思い通りにいかないこともあります。しかし、たとえ負けたとしても敗因を考えることで、原点に帰れる。失敗を糧に次のがんばりにつなげ、自分が成長していけるのです。

課題は担い手の確保

現在、牛突きは島の伝統文化という面だけではなく、観光産業の一つとして



全隠岐牛突き連合会会長 齋藤 茂さん

小学生のころから牛と関わり牛飼いの歴史は50年余り。今年の八朔大会では自身の横綱牛で見事優勝された。平成20年から全隠岐牛突き連合会会長。

も行われていますが、課題は担い手不足です。現在若い牛飼いが20代後半ですが、そのあとが続いていないのです。問題は大きく3点あります。1つ目は牛を飼うための経済力。2つ目は飼料や敷物となり、1頭当たり3反分を必要とするわらを揃えることの難しさ。最後に牛飼いは家族などのバックアップが不可欠なこと。現在の社会・経済情勢ではそのすべてを揃えることは難しく、担い手不足という状況につながっています。

次世代につなげるため

県の無形民俗文化財にも指定されている「牛突き」。島が誇るこの文化はぜひ残していきたいと考えています。保存には、育成段階での対策が必要で、飼育者の経済的負担を抑え、まとまった数の突き牛の安定的な飼育を可能とする「オナー制度」の拡充で守れると考えています。

「今後も、この歴史ある文化を後世に伝えるため頑張ります」と齋藤会長の牛突きを守るための取り組みは続きます。

※「オナー制度」…牛突きに理解のある第三者が牛のオナーとなって飼育への一定の支援をし、突き牛の飼育者が抱える経済的問題を解決するための制度。

●全国闘牛サミット協議会とは

今年隠岐の島町で開催された「全国闘牛サミット」。主催する協議会の概要をご紹介します。

■目的

全国の、牛突き(闘牛)の伝統文化を有する市町村が一堂に会し、文化の保存・伝承と相互の交流、親善を深めるとともに、伝統的な資源を生かした個性豊かなまちづくりを図ることを目的に平成10年から組織されました。

■構成員

各自治体と闘牛関係団体で組織されています。平成22年度の構成員は下記の18団体です。

岩手県久慈市、新潟県(小千谷市、長岡市)、愛媛県宇和島市、鹿児島県(徳之島町、天城町、伊仙町)、沖縄県うるま市、島根県隠岐の島町、いわて平庭高原闘牛会、山古志闘牛会、小千谷闘牛振興協議会、宇和島観光闘牛会、徳之島闘牛連合会、関西闘牛倶楽部、沖縄県闘牛組合連合会、うるま市具志川闘牛組合連合会、全隠岐牛突き連合会

●牛突きの基本技

牛突きは一見しただけは単なる力まかせに映りますが、数々の技で闘っています。ここではいくつかの基本技をご紹介します。知れば知るほど牛突きが面白くなるはずです。

あげ		もたし	
押し		いない込み	
ねじり		はらぎ	
ほじり		あげもどし	



写真解説 ① 前日の氏神参り ② 前夜祭の料理 ③ 前夜祭 ④ 壇境神社参り ⑤ 角研ぎ ⑥ 出発前の清め ⑦ 牛の積み込み ⑧ 飾り付け ⑨ 見送りする住民 ⑩ 牛突き場近くの幣池神社参詣 ⑪ 土俵入り ⑫ 座元のたまりから勝負のため土俵に向かう「若昇力」

まちのできごと

8/14 西村神楽 厳かに舞う

西村神楽が、西村神社で夜通し行われ、様々な演目が舞われるたびに、帰省客など多くの見物客から拍手が送られました。



敵かな舞を堪能する見物客の方々

8/15 ロシア軍人墓地の管理者に感謝状贈呈

日露戦争で戦死したロシア兵を埋葬したロシア軍人墓地(西町)を管理している石川通政さん、リツ子さん夫妻(中町在住)に、在大阪ロシア総領事館より感謝状が贈呈されました。このロシア軍人墓地は明治38年(1905年)の日本海海戦時に漂着し

たロシア兵を供養するため建てられたものです。

同墓地で行われた感謝状贈呈式では、在大阪ロシア総領事イワン・V・プロホロフさんより石川ご夫妻に対して、長年に渡る活動に感謝の意が述べられました。



写真右からイワンさん、石川さん夫妻

8/18~ 2年ぶり2度目の優勝 第3回離島交流中学校野球大会

8月18日から21日にかけて鹿児島県種子島を舞台に「国土交通大臣杯 第3回全国離島交流中学生野球大会」が開催され、隠岐の島町合同チーム「隠岐の島あんやらず」が見事優勝を果たしました。本大会は元プロ野球選手村田兆治さんが提唱し、野球を通じて全国の離島の子も達が一堂に会し、試合

を通じて島と島との交流を図るために行われています。

第3回目となる今回は、北は北海道礼文町から南は沖縄県久米島町までの17チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

「隠岐の島あんやらず」は初戦からの苦しい試合を勝ち上がり、決勝戦では特別延長の未見事優勝を成し遂げました。たくさんの方の温かいご声援ありがとうございました。



決勝戦を制した直後マウンドで喜びを分かち合う隠岐の島町合同チーム

8/19~ 閉校施設を有効活用 旧大久小学校を利用して「夏の学校」を開催

今年3月に閉校となった旧大久小

学校を利用して、地元大久地区の子ども達と島根大学学生などが協力し教育的活動に取り組み「夏の学校」が8月19日より3日間の日程で開催されました。

「夏の学校」には、島根大学生6名を含む23名が参加し、ジオパークめぐりなどの野外活動や作品制作を行い、お互いの交流を深めました。



野外活動の結果発表の様子

8/25・28 皆様の「ご意見」を町政へ 出前町長室の開催

8月25日箕浦地区で、出前町長室が開催されました。地区の要請を受け松田町長がお伺いし、災害復旧の見直しなど地域の課題について意見交換がされました。また、8月28日には蛸木地区でも

開催され、現在同地域で進めている牧野整備などについて活発な意見交換が行われました。



蛸木地区で開催された出前町長室の様子

8/29 消防技術を競う 消防操法大会の開催

隠岐の島町発足後初めてとなる「隠岐の島町消防操法大会」が、旧隠岐空港において開催されました。本大会は、消防精神を鍛練し、迅速的確な消防技術の向上を図り、団員相互の連帯意識の高揚を図ることを目的に開催されるものです。

炎天下の中、参加した団員約320名の中から10チーム40名が競技に出場し、日頃鍛えた小型ポンプ操法の技を競い合いました。競技結果は次のとおりでした。
第1位 都万西部分団(浜那久班)
第2位 都万西部分団(上那久班)

第3位 中条分団(原田班)
個人賞(最優秀者)
指揮者 隠岐忠さん(都万西部分団)
1番員 安部正和さん(都万西部分団)
2番員 吉田公志さん(中条分団)
3番員 安部剛さん(都万西部分団)



団体1位浜那久班と団体2位の上那久班の皆さん

8/31 全国闘牛サミット 大会協議会総会の開催

牛突きをしている全国の自治体や関係者が集う「第13回全国闘牛サミット in 隠岐の島大会サミット協議会」の総会が、羽衣荘(都万)で開催されました。

会議には関係者約50名が参加し、交流や相互連携を深めるとともに、牛突きの保存・継承に向けた「全国牛突きサミット宣言」を採択したほか、闘牛オーナーの確保や口蹄疫問題などについて意見交換がされました。



総会冒頭で挨拶を行う松田町長

9/1 全国闘牛サミット記念 八朔牛突き大会

全国闘牛サミットを記念して「八朔牛突き大会」が開催されました。11近くの巨体がぶつかり合う迫力ある勝負が繰り広げられ、沢山の観戦者の方々から一番一番に大きな拍手が送られました。

9/5 隠岐学セミナー開催

漫画家の安彦良和さんと大学教授の松本健一さんを講師にお迎えし、「第16回隠岐学セミナー」が隠岐島文化会館で開催されました。約120名の参加者の前で、古事記についての独自の見解や島の集落を守る大切さなどが説明されました。



今年も大勢の観戦者でにぎわった佐山牛突き場



写真右が松本教授、左は安彦先生



新校舎で始業式

中村・布施統合により新設の北小学校

中村小学校と布施小学校が統合され新設された北小学校は、8月に旧中村中学校を改造した新校舎が完成し、8月31日に新しい校舎での始業式を迎えました。

はじめに、各学級の児童代表が夏休みの思い出と2学期にがんばりたいことを発表しました。「漢字を覚える」「低



北小学校新校舎玄関(旧中村中学校を改造)



児童、先生が全員そろって始業式を迎えました

学年にやさしくする」などの目標を発表していました。

次に校長先生が「工事中はさみしかった校舎も、今日はみんなの声がかき響いて建物もよるよるこんでいるように感じます。新しい校舎にふさわしいぎきたのこに

なってください」と挨拶されました。最後に校歌斉唱をしましたが、4月の開校式のときにはぎこちない校歌斉唱でしたが、この日はしっかりと歌えました。子どもたちは心機一転、新しい学び舎で元気に学んでいます。

※北小学校新校舎は、旧中村中学校の階段、バスケットボール、手摺などの高さを小学生用に調整、技術室を普通教室に改修などの改造を4月から8月にかけて行い、完成しました。1学期の間、旧中村小学校を使用していました。

公民館コーナー

自転車による島前2島走破にチャレンジ

第25回アドベンチャー教室

西郷地域まじづくり運動協議会

「自分にチャレンジ・みんなでチャレンジ・大自然にチャレンジ」を合言葉に、小学4年生と中学3年生の18名が、猛暑がつづく8月20日(金)と22日(日)にかけて、自転車で移動しながら2泊3日のキャンプ生活を行いました。



国賀海岸(西ノ島町)で記念撮影する参加者



島前の大自然のなか、アップダウンの激しいコースを力走

初日は、海士町。まだ足が自転車に慣れておらず、坂道に悪戦苦闘しながらも、キャンプ地の隠岐神社外苑に到着しました。

2日目は西ノ島町。鬼舞展望台と赤尾展望台を走破し、風情あふれる美田小学校へ到着。夜には、キャンプの灯りを囲み、最終日の最難関「摩天崖」走破へ向け想いを共有しました。

最終日は、イザナキ浦を通り、摩天崖を目指しました。予想以上の激しい坂道の連続と3日間続いた超猛暑に苦しめられながらも、お互いに励ましあいながら、頂上まで走破することができました。

全80キロにも及んだ自転車の旅も、地元島前スタッフや住民の皆さんの温かい声援を受け、無事に完全走破し、「合言葉みごと達成」のキャンプとなりました。

学校・町民体育館の利用申請受付中!

●平成22年度後期

教育委員会では、平成22年度後期(10月～3月)の学校・町民体育館の利用申請を受け付けています。申請の受付は9月27日(月)までです。施設利用を希望される団体は、利用申請書に記入し提出してください。

利用申請書は、前期(4月～9月)に利用された団体には、送付してありますが、各学校又は教育委員会にも置いてあります。また、隠岐の島町教育委員会のホームページからもダウンロードできます。

提出先は、学校施設利用の場合は利用する学校へ、総合学習センターと町民体育館の場合は教育委員会になります。

■[学校]

西郷小学校、中条小学校、有木小学校、磯小学校、北小学校、五箇小学校、都万小学校、西郷中学校、西郷南中学校、五箇中学校、都万中学校

■[町民体育館]

総合学習センター(今津)、中条町民体育館、岬町民体育館

■注意事項

定期利用されている団体が、決められた曜日、時間以外に施設を利用するときには、別に申請が必要で

必ず利用前に教育委員会まで届出をお願いします。

■お問い合わせ先

隠岐の島町教育委員会
生涯学習課 社会教育係

電話 2-2126
FAX 2-0619



全隠岐剣道選手権大会結果と優良成績特別表彰

第52回全隠岐剣道選手権大会が、総合体育館で9月12日(日)行われました。島前・島後から総勢65名の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。種目別の優勝者は次のとおりです。

- 団体戦 小学生の部一位 浦郷剣道クラブA
- 小学生低学年 男女混合の部一位 堤 悠介(東郷剣友会)
- 小学生中学年 男子の部一位 森 蓮(東郷剣友会)
- 小学五年生 男子の部一位 長谷川達郎(錬成会)
- 小学六年生 男子の部一位 森 海斗(東郷剣友会)

- 中学生 男子の部一位 原 悠馬(西郷中剣道部)
- 一般 男子の部一位 石谷晶広

また、隠岐剣道連盟より、島外で活躍された次の方々に特別表彰が送られました。

- 沖縄インターハイ剣道大会 女子団体 3位入賞 大社高校 吉田瑠美さん(東郷出身)
- 男子個人 ベスト16 大社高校 山本陽介さん(飯田出身)



図書館だより

隠岐の島町図書館

電話 08512-2-2341 FAX 08512-2-9198

●開館時間10時～18時 ●閉館日(月曜日・第3日曜日・祝日)
※祝日が月曜、第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

新しいCDとDVDが入りました

図書館にはCD・DVDともにいろいろなジャンルが入っています。1人3点まで一週間借りられます。図書館内で視聴することもできますので、カウンターで申し込みください。



「町のアーティスト展」出品作品募集中

日頃ものづくりをよくされる方、その作品を図書館で展示してみませんか? 図書館では『町のアーティスト展』と題し、図書館奥の展示コーナーで町民の方が作られた作品を展示しています。飾ってみたい作品がある方、または知り合いで素敵なものづくりをされている方がおられましたらご紹介ください。

光ファイバー通信網整備事業に関するご質問にお答えします



地区説明会の様子(山田地区生活改善センター)

広報等でお知らせしていますが、本町では、現在、町内全域で高速インターネットの利用が可能となる「光ファイバー通信網整備事業」を進めています。

これに伴い、8月上旬より約1ヵ月間かけて町内47会場において事業説明会を開催し、計454名の町民の皆様に出席いただきました。説明会では出席された皆様より多くのご質問等をいただきましたので、これらの中から主なご質問と、その回答についてお知らせします！

光ファイバー通信網整備事業について

■問い／12月末以降に申し込みする場合、引込み工事はどうなるか？

●答え／引込み工事は対応いたしますが、工事費については有料となる可能性があります。

■問い／今回インターネットには加入しないが、引込み工事を整備してもえなかな？

●答え／補助事業の制度上インターネットを利用しない場所への引込み工事はできません。ただし、幹線については町内全ての世帯で利用できるよう整備を行います。

■問い／集合住宅などの場合、現在の入居者の都合より引込み工事ができる部屋とそうでない部屋ができ、来年度以降の入居者にとって部屋に格差が生じることはないか？

●答え／入居者が変われば、引込み工事の有無に関係なく新規契約の扱いとなり初期費用は等しく必要となることから格差は生じないと考えます。

インターネットについて

■問い／9月末までの加入促進キャンペーンは、光インターネットサービスへの加入が条件か？また、このキャンペーンは9月以降なくなるのか？

●答え／キャンペーンは、光インターネットサービスへの加入が条件となります。9月以降のキャンペーンについてはN.T.Tが検討中であり、現時点では未定です。

■問い／今まで自前で整備したLAN・電話線はそのまま利用できるのか？

●答え／そのまま利用できません。

■問い／現在パソコンを2台利用しているが、それぞれに契約が必要となるのか？

●答え／N.T.Tが設置する機器(HGW)に差込み口(LANポート)が4つありますので複数台で利用できます。

■問い／現在、セコムをプロバイダとして利用しているが継続利用は可能か？また、プロバイダを変更した場合、メールアドレスは変わるのか？

●答え／継続利用は可能です。また、プロバイダを変更した場合、メールアドレスは変わります。

■問い／現在契約しているプロバイダを変更しなければならぬのか？

●答え／変える必要はありません。ただし、プロバイダによっては光接続に対応していない場合があります。また、設定変更が必要な場合がありますので、プロバイダに確認して下さい。

■問い／光ファイバーに接続した場合、今までのモデムやスプリッタはどうなるのか？

●答え／不要となります。

■問い／光ファイバーに接続する場合、個人でウィルス対策が必要か？

●答え／光インターネットサービスに契約いただいた方には、ウィルス対策ツールが標準装備されています。(ただし、パソコン2台目からは別途料金が必要となります。)

光電話について

■問い／光電話のメリットは何か？

●答え／電話の基本料金が(1,600円前後から525円へ)安くなることと、通話料金が全国一律(8・4円/3分)になることがあげられます。

■問い／光電話だけの契約はできないか？

●答え／光インターネットサービスの契約が前提となりますので、光電話だけの契約はできません。

■問い／光電話に移行すると電話番号が変わるのか？

●答え／電話番号も電話機もそのまま利用できます。

■問い／現在、電話を2回線利用しているが、N.T.Tが設置する機器(HGW)も2台必要か？

●答え／追加料金(420円)をいただければHGW1台で2回線(2番号)利用可能です。

■問い／現在IP電話を利用しているが、このまま使い続けることができるのか？

●答え／それぞれのプロバイダが提供しているサービスなので、プロバイダとの契約を継続するなら利用可能です。

その他について

■問い／光ファイバーを利用してテレビの地上波放送を視聴できないか？

●答え／将来的には地デジの再送信サービスが展開されると考えています。そのためには各放送局の許可が必要であり、現在大都市圏域から順次許可されている状況にあります。



※申込み締め切りは12月28日までとなっています！

国勢調査について

■平成22年10月1日に国勢調査を実施します

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われます。

国勢調査の結果は、衆議院の小選挙区の画定基準、地方交付税の算定基準など、多くの法令でその利用が明記されています。

また、国や地方公共団体における様々な施策の立案・推進に利用されるのみならず、学術、教育、民間など各方面で広く利用されています。



エコポイント事業のお知らせ

隠岐の島町ノーレジ袋デー

10月10日から、「エコ隠岐Shop」(隠岐の島町ノーレジ袋デー参加店舗)で使えるエコポイント事業を始めます。レジ袋を使わず、お店でポイント

をゲットしましょう！

レジ袋の削減は、ごみを減らす取組みのひとつです。お買い物にはマイバッグを持参するなど、レジ袋の削減に取り組んでみませんか。

■実施時期

平成22年10月10日から

■内容

●「エコ隠岐Shop」にて、ポイントカードを配付します。

●ポイントカードは、「エコ隠岐Shop」での使用のみ有効となります。

●レジ袋辞退者には、お買い物1回につき1ポイントをストックします。

●10ポイント貯まったポイントカードは、「エコ隠岐Shop」にて特典(町指定のごみ処理券100円1枚)と交換します。

●1店舗で受けられるポイントは1日1回までで、1日に同じ店舗にてポイントを受けることは出来ません。

●ポイントカードに、お名前のない場合は無効となります。

●交換済みのポイントカードの中から、年4回抽選にて更に特典が受けられます。(ただし、ポイントカードに氏名、電話番号の記入があるなど連絡可能な場合に限りです。)

■お問い合わせ先

隠岐の島町レジ袋削減推進協議会(役場環境課) 電話2・8565

障がい福祉サービス等相談会の開催について

隠岐の島町では、岬町に設置されている障がい者等相談支援事業所「太陽」と合同で障がいのある方や家族の方の各種相談に応じる「障がい福祉サービス等相談会」を開催します。サービスの利用や就労についてなど、お気軽にご相談ください。

●とき 平成22年10月3日(日) 午後1時から4時まで

●場所 隠岐の島町ふれあいセンター

■お問い合わせ先

障がい者等相談支援事業所「太陽」 電話2・5699

役場福祉課 電話2・8561

平成22年度 赤十字社資のお礼と報告

5月に実施しました「日本赤十字運動」に、4,723件、3,234,624円の社資をお寄せいただきました。町民の皆様は善意に厚くお礼申し上げます。

なお、この社資は日本赤十字社島根県支部へ送らせていただきました。

■お問い合わせ先

役場福祉課 電話2・8561

隠岐の島町成人式 2010



生き生きとした表情で記念写真に収まる新成人たち

新たな誓いを胸に

隠岐の島町成人式行われる

8月15日(日)、隠岐島文化会館で、隠岐の島町成人式が行われ、参加した121人(対象者198人)が、社会人としての誓いを新たにしました。

式典では、松田町長の式辞に続き、来賓の谷口桂介さん(成人者が中学生当時の西郷中学校校長)が、「厳しく困難な時代となっていますが、君たちの宝物である未来を良くも悪くもするのは、君たち自身の意識であることを認識し、未来をより良いものにしてい

ってほしい。」と、若者たちを激励。新成人を代表し、現在、特別養護老人ホーム静和園に勤務されている香川亜耶さんが、「ふるさと隠岐を誇りに思い、父や母、地域社会の皆様の期待に応えられるよう、一生懸命努力していきたい。」と、感謝と決意の言葉を述べました。

式典に続いて行われた交流会では、旧友との久しぶりの再開を楽しみ、笑顔で「20歳の門出」を祝いました。



祝辞を述べられる来賓の谷口桂介さん



新成人を代表して謝辞を述べる香川亜耶さん



式典の後行われた交流会で乾杯する新成人の皆さん

情報アンケート

10月は臓器移植普及推進月間です!!

- ◆臓器移植法が、改正されました
臓器を提供する意思表示に併せて、親族に対し臓器を優先的に提供する意思を、書面に表示できます。
- ◆ご本人の臓器提供の意思が不明な場合も、ご家族の承諾があれば臓器の提供が可能です。これにより、15歳未満の方からの脳死下での臓器の提供も可能になります。
- ◆臓器提供意思表示カードが新しくなりました
新しいカードは、市役所、町村役場、保健所他に設置をしています。
- ◆意思表示の方法
インターネットでの意思登録や、臓器提供意思表示カード・シール、被保険者証、運転免許証の意思表示欄に意思を表示できます。
- ◆『臓器を提供したい』『臓器を提供したくない』どちらの意思も表示できます。ご家族へご自分の意思を伝えるお話をしましょう。

●お問い合わせ／

(財)島根難病研究所しまねまごころバンク
出雲市塩冶町223-7
電話0853-22122556

ご協力をお願いします 自動車起終点調査

9月から11月にかけて、「自動車起終点調査」(自動車利用に関するアンケート調査)を行います。

この「自動車起終点調査」は、交通の流れのもととなる車の一日の動きについて、どこからどこへ、どういう目的で移動したかなどを調査するもので、現在の交通実態を把握し、住み良いまちづくりや将来の道路計画の基礎資料とするものです。

調査は、島根県内から無作為に選出された世帯を調査員が訪問し、調査票を配布して記入方法などを説明いたします。

また、記入していただいた調査票は、後日、調査員が回収に伺います。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。
※当調査における調査員は、松江国道事務所長印を押印した身分証明書を携帯しています。

●実施主体

国土交通省松江国道事務所
国土交通省浜田河川国道事務所

●お問い合わせ／

島根県起終点調査サポートセンター
電話0120-11034107

島根県の不妊対策事業について

◆島根県では「不妊専門相談センター事業」及び「特定不妊治療費助成事業」などの不妊対策事業を実施しています。

■不妊専門相談センター

不妊原因や治療・検査内容、不妊に関する不安や悩みなどについて専門家による相談を行っています。

●電話相談

平日午後1時～4時
電話0853-2113584

●面接相談 ※要予約

●メール相談 左記アドレスから funishimane@spch.izumo.shi-
mane.jp

■特定不妊治療費(対外受精・顕微授精)の一部補助を行っています。(1回

15万円・所得制限あり)
詳しくは最寄りの保健所まで
http://www.pref.shimane.lg.jp/kenko/
●お問い合わせ／
島根県健康福祉部健康推進課
電話0852-2215324

十津川高校へ世の中校の実生を記念植樹

中村の中沼了三顕彰会(会長 田中和實さん)の3人が、6月14日、奈良県十津川高校の校庭で、同校開校150年を記念して世の中校の実生の苗木などを植樹しました。

中沼了三は中村出身で明治維新のとき活躍した儒学者で1864年に孝明天皇の勅命で同校の前身「文武館」を設立しました。同顕彰会の田中会長は「中村出身の中沼先生を今でも慕って、同校は修学旅行に隠岐に来ていただいている。その感謝と隠岐と十津川との絆を深めるため世の中校の実生を記念植樹した。」と話しました。



世の中校の実生の苗木を植樹する田中会長(写真右) (奈良県十津川高校の校庭にて)

地産地消でおいしいお米を食べましょう!

有木山崎

期間限定米 **こめや米穀店** ☎2-0900

米作りの上手な優良農家から直接仕入れました。この時期だからこそ、お届けできる美味しいお米です。数量にも限りがありますので是非、召し上がってみてください!

5kg...2,300円
新米 10kg...4,500円
15kg...6,500円

隠岐の島町内ならどこでも無料配達致します。お米の地方配送も承ります(箱代サービス)。御注文、お問合せお待ちしております。

隠岐の島町有木山崎18 代表 繁浪只男 FAX 2-0903

着物レンタル始めました

冠婚葬祭、お宮参り、七五三
成人式、婚礼、還暦など

着付け・ヘアセット
足元にいたるまで全て
トータルでご用意いたします。

5,000円より
どんなご相談にも応じます。
お電話お待ちしております。

隠岐の島町中町目貫3-9-2
カトリア美容室
☎2-0688
夜間電話 ☎2-3215



戸籍コーナー

ご誕生

(氏名)	(地区)	(保護者)
齋藤 帆希	東町	齋藤恭平
戸嶋 美詞	港町	戸嶋崇史
渡辺 篤希	原田	渡辺勝則

おくやみ

(氏名)	(地区)	(年齢)
田平 芳太郎	上西	87歳
河田 省治	西町	84歳
永海 さよ子	岬町	92歳

※8月31日までの申込み受付分(敬称略)

**無料調停相談に
来てみませんか!**

離婚や遺産相続などの家庭内のもの
事、隣人とのトラブル、消費者金融業者
との金銭の問題など様々な問題により
悩んでいる方について、左記のとおり
調停相談を実施します。

相談は無料で、秘密は守られます。

●日時 平成22年10月4日(月)午前10
時から午後3時まで

●場所 隠岐島文化会館

●担当者 民事・家事調停委員
●お問い合わせ先
松江地方裁判所西郷支部
電話 2-00005

偲びの膳

在りし日の故人を偲び、懐かしい思い出を
語らう追善のお席をご用意いたします。

@5,250円 (@5,000円税別)
@6,300円 (@6,000円税別)
@7,350円 (@7,000円税別)

仕出し膳、お持ち帰り用・霊供用の
お膳もご要望で承ります。
送迎バス無料(要予約)

隠岐プラザホテル
隠岐の島町港町天神原
TEL.08512-2-0111
FAX.08512-2-0521



新機種続々登場予定!

SOLARPHONE SH003 by SHARP
Cyber-shot™ S003 by Sony Ericsson
AQUOS SHOT SH008 by SHARP

QUショップ隠岐
隠岐の島町原田1501-4
お問い合わせ ☎2-0220 営業時間9:00~19:00まで 定休日なし



炉端 味咲

要予約・一日一組様限定(4名様以上)
お一人様4,500円~
【送迎も致します。】

隠岐の島町岬町中ノ津
電話 08512-2-6566



お詫びと訂正

前月号7頁まちなのできごとコー
ナーにおいて、脇田和彦さんのご
住所が、また、13頁戸籍コーナーに
おいて山根伸子さんのお名前に誤
りがありました。お詫びして次の
通り訂正いたします。

●7頁まちなのできごと脇田和彦さ
んご住所
誤 久見地区在住
正 苗代田在住

●13頁戸籍コーナー
誤 山根信子さん
正 山根伸子さん

宅配便、郵便で自宅から
自動車の登録、届出の手続きが出来ます!

島根県行政書士会所属 自動車の手続取扱
吉田昭二事務所 ☎0852-37-2262

標準料金 普通車名義変更・廃車...7,000円から
軽四輪名義変更・廃車...5,000円から

その他
※新車手続、住所・氏名変更、車検証の再交付、希望ナンバー
の取得、二輪車登録の取り扱いも行っています。
※普通車のナンバープレートについては隠岐の島町役場で封
印がつけられます。

車の手続きについて
電話相談歓迎

車の登録届出は色々種類がありますので、事前に電話でご相談ください。
必要な書類はすぐに郵又は郵送いたします。

〒690-0024 島根県松江市馬淵町39-7 (国道9号線沿、島根陸運支局より200m)
☎0852-37-2262・☎0852-37-2263
[夜間・休日] ☎0853-72-8605・☎090-3375-4387

ドコモショップで働こう!

「人と接することが好き!」
「携帯電話の新しい機種が気になる」
という方にオススメの仕事です。

□募集職種 / ①窓口業務1名
②窓口業務ルート営業1名

未経験の方でも安心。簡単な業務から丁寧に指導致します。
応募期間、条件等詳しくは電話にてお問い合わせ下さい。

●営業時間:午前10時~午後7時
●定休日:火曜日
885-0015隠岐郡隠岐の島町港町塩口24-9
NTT西日本隠岐ビル1F
ドコモショップ隠岐店 ☎0120-075-445



隠岐の島町行事予定 10月

1日 金	
2日 土	
3日 日	舞人の集い14:00～(隠岐島文化会館) 障がい者福祉サービス相談会13:00～(役場ふれあいセンター)
4日 月	図書館休館 無料調停相談10:00～(隠岐島文化会館)
5日 火	
6日 水	
7日 木	
8日 金	
9日 土	人権教育相談会9:30～(役場ふれあいセンター)
10日 日	隠岐の島町ノーレジ袋デー
11日 月	体育の日 図書館休館
12日 火	図書館休館
13日 水	一夜嶽牛突き大会 午後(一夜嶽牛突き場:北方)
14日 木	
15日 金	納付金時間外窓口17:15～19:00(役場本庁事務課) 隠岐法律相談センター13:00～15:00(隠岐島文化会館) ※有料・要予約 予約先Tel0852-21-3450
16日 土	
17日 日	宝くじ文化公演「森公美子コンサート～カモナ・マイ・ドリーム～」19:00～(隠岐島文化会館) 隠岐の島町バドミントン選手権大会(総合体育館) 図書館休館
18日 月	年金相談13:00～(役場ふれあいセンター) 図書館休館
19日 火	年金相談 9:00～(役場ふれあいセンター)
20日 水	
21日 木	
22日 金	
23日 土	竹島領土確立運動隠岐の島町集会13:30～(総合体育館)
24日 日	
25日 月	図書館休館
26日 火	
27日 水	
28日 木	
29日 金	
30日 土	
31日 日	音楽の集いミックス 14:00～(隠岐島文化会館)

一夜嶽牛突き大会

●とき/10月13日(水)午後1:00～
●ところ/一夜嶽牛突き場(北方)

お問い合わせ先:役場観光商工課 ☎2-8575

森公美子コンサート

●とき/10月17日(日)午後7時開演
●ところ/隠岐島文化会館

宝くじ文化公演

宝くじは豊かさ楽しくカラ持ち。

入場料(※前売り全席自由)
一般 2,000円
高校生以下 1,000円

販売開始日 9月21日(火)

※お問い合わせ先 隠岐島文化会館 ☎2-0237

竹島領有権確立運動隠岐の島町集会

●とき/10月23日(土)午後1時30分～
●ところ/総合体育館(栄町)

記念講演 「近年の竹島領土問題について」
講師 下條正男氏(拓殖大学教授)

お問い合わせ先:役場総務課 ☎2-2111

編集室

▼近頃、急な豪雨などが頻繁に発生しなかなか予測ができなくなりました。▼一人暮らしのお年寄りの方々などは、大雨や台風時に不安なひと時をお過ごしのことと存じます。▼このような中、今後益々重要となってくるのは地域住民が自発的に結成する「自主防災組織」です。▼現在、本町の自主防災組織の組織率は、全国平均の71.7%に対して69%とまだまだ遅れている状況です。(平成21年度の数値)▼地域住民がそれぞれの地域で安心して暮らせるために、自治会単位での自主防災組織の設立が望まれます。(C・S)

▼16回開催の歴史がありながら未受講となっていた隠岐学セミナーに「取材で訪れるチャンスがめぐってきました。▼少し興味があった出雲神話を含む古事記の独自の見解や、一点在る集落(シマ)が、人と文化を育む元であり、日本人が守らなければならぬもの」との講師の言葉と広い見識に刺激を受け、こうしたセミナーに参加し、普段とは違う世界観を見せてもらうことは面白い！と改めて感じました。

▼取材ではなくチャンスを作り積極的に参加したいと思えます。(T・S)

人口と世帯数

平成22年9月1日現在
※()内は前月との増減

男7,562人(-4人) 女8,331人(-1人)

合計 **15,893(-5)人**

うち65歳以上 5,307人[33.3%]
うち15歳未満 1,801人[11.3%]
世帯数 7,338(+6)世帯

増	転入 26人	出生 9人	その他 0人
減	転出 19人	死亡 21人	その他 0人